

蔵増北壮年会だより
発行 第33号
平成12年7月20日



そうねん

発行人 会長 山崎 秀行
編集委員長 奥山 正男
編集 機関紙編集委員会



新世紀に翔けて
二十周年記念事業
華々しく開催

平成12年2月13日
天童ホテルにて



温かな地域づくりに邁進

— 北壮年会20周年を祝う —

本年二月十三日、北壮年会の記念すべき二十周年式典・祝賀会が天童ホテルで開催されました。記念事業では、ウーロン亭ちゃ太郎さんの公演や、来賓、本会の諸先輩方を招いての祝賀会などが開催され大成功裡に終了しました。

七年前から準備

この事業に向けては平成五年度総会で当時の三役が、「大きな節目を迎えるにあたり、財源確保が必要」という趣旨で毎年積立てを提案。そして十一年度に入ってから、案内式典、記念誌部を立ち上げ、実行委員会を組織しました。

記念祝賀会の開催

祝賀会は午後五時三十分から会費制で開催され、深瀬正



お世話になった先生方に感謝状

人社会教育課長、伊藤孝男市連合青壮年会長、楯悟朗地区公民館長、土屋英雄北区連合

会長等の来賓と、そして本会結成時からの諸先輩方を招き、現会員共々交流を深めました。

主催者を代表し山崎諭会長は、「この地に生まれ、育ち、この地で土になる人同士がお互いを知り合うことは大事。そのために果たす壮年会の役割は大きい」と熱いメッセージを送りました。



晴れの舞台上で謡曲部が「四海波」披露



ユーモアたっぷり ちゃ太郎さん

ウーロン亭ちゃ太郎公演

午後四時からはウーロン亭ちゃ太郎の「オペラ落語」の公演があり、オペラの名作カールメンを面白おかしく、ギャグセンスと七色の声で喝采を浴びていました。

感謝状贈呈

北壮年会でお世話になった謡曲部の田宮啓先生、書道部の岩月啓次郎先生、そして北区新春将棋大会優勝者へ記念駒（掬水作）を寄贈していただいている桜井和男さんへ感謝状を贈りました。

記念品贈呈

◎集会用テント
北区連合会へ各種事業や冠婚葬祭などにも使えるように集会用テントを贈りました。

◎瞬間湯沸し器
北公民館へ贈り、利用者から重宝がられています。
◎記念誌発行
二十年のあゆみを盛り込んだ記念誌を作成し、北区全戸に配布しました。

◎花台
「ひまわり園」の園生が製作した花台を来賓と全会員へ贈りました。

新世紀へ向けて

記念事業を通してあちこちから、「次の三十年には私たちは第一線にいるかいけないか分からないが、若い人たちにはこれまでの歴史を踏まえ新しい活気のある北壮年会に育てほしい」という期待の声が聞かれました。



佐藤初代会長の音頭で輝かしい明日を祈念



新役員一同ガンバります。みなさん、どうぞよろしく。

新体制スタート

平成十一年度総会開催される

平成十二年二月二十七日、平成十一年度北壮年会総会が開催されました。はじめに山崎諭会長が、「本年度は北壮年会二十周年記念事業を盛大に執り行うことができた。振り返ると設立草創期の思いは二十年経っても変わらず、親睦と交流を重ね、みんなで力を合わせて地域づくりに取り組んできたことは社会教育そのものである。これからは新たに北の気風を盛り上げるために力を発揮してほしい」と挨拶しました。

を送ってくれました。

特別積立てを継続

議事では、三十周年記念事業に向けての特別積立てや、クラブ活動に対する助成金増額の考えなどが示され満場一致で承認されました。

新役員紹介

- | | |
|--|----------------|
| 連合会長が挨拶に立ち、「七月に沖縄サミットが開催されるが、有色人種は日本国だけである。五十数年前の敗戦から立ち直った背景には、人づくり、教育に力を入れてきたから、とも言われている。我が北区は、開発が遅れ、金持ちもない。しかし、人的資源は素晴らしいものがある。これから発展し活性化していくことは間違いない」と胸 | 会 長 山崎 秀行 (北二) |
| 副会長 鈴木慶一郎 (北二) | 副会長 鈴木慶一郎 (北二) |
| 理 事 熊沢 常也 (北三) | 理 事 熊沢 常也 (北三) |
| 理 事 土屋 政美 (北二) | 理 事 土屋 政美 (北二) |
| 理 事 森谷 忠男 (北二) | 理 事 森谷 忠男 (北二) |
| 理 事 森山 信之 (北二) | 理 事 森山 信之 (北二) |
| 理 事 後藤 敏明 (北二) | 理 事 後藤 敏明 (北二) |
| 理 事 秋保 栄 (北二) | 理 事 秋保 栄 (北二) |
| 理 事 土屋 忠幸 (北二) | 理 事 土屋 忠幸 (北二) |
| 理 事 五十嵐利夫 (北三) | 理 事 五十嵐利夫 (北三) |
| 理 事 東海林由人 (北三) | 理 事 東海林由人 (北三) |
| 理 事 山崎 秀樹 (北三) | 理 事 山崎 秀樹 (北三) |
| 監 事 今田 光一 (北二) | 監 事 今田 光一 (北二) |
| 監 事 佐藤 正男 (北三) | 監 事 佐藤 正男 (北三) |
| ソフト部長 山崎稔 (北三) | ソフト部長 山崎稔 (北三) |
| 将棋部長 森山美典 (北二) | 将棋部長 森山美典 (北二) |
| 麻雀部長 斎藤 勉 (北三) | 麻雀部長 斎藤 勉 (北三) |
| 謡曲部長 土屋弘良 (北二) | 謡曲部長 土屋弘良 (北二) |
| 書道部長 東海林隆 (北三) | 書道部長 東海林隆 (北三) |
| 写真部長 大木富雄 (北二) | 写真部長 大木富雄 (北二) |

未来の地域を考える会に

新会長 山崎 秀行

会員の皆様そして地区民の皆様、この度私が北壮年会の会長としてその任務を引き継ぐことになりました。この一年間何卒よろしくお願ひします。

おかれましては、日々何かとお忙しい中とは存じますが、壮年会事業に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、我が国の経済状況は、銀行の倒産、大企業、中小企業の雇用問題をはじめ、現在は石油関連企業の経営悪化から合併とさまさまなところで厳しい環境になって来ております。そのようなことも話題になる壮年会にして行き、又、未来の蔵増北はどうあるべきかなども考える場にして、今後は行動の場を広げて行きたいと思ひます。

我々会員は年齢的にも地域の中心となる年代になってきています。その様な大事な時何をするにも考えて行動するということが大切だと思ひています。何はともあれ、北壮年会を継続させて行くには、急激な会員の減少をなくすことであり、毎年、新会員の入会をいただかなければなりません。どうか、地区の皆様、ご理解をいただき積極的な入会をお願いいたします。

最後に、日頃は地区民あげて壮年会活動に御協力をいただき、誠にありがとうございます。紙面を借りてお礼を申し上げます。



Profeel

山崎 秀行さん (S. 25生)

地域でPTA会長や、青年会幹事等要職を歴任。現在王将ライオンズでもリーダーシップを発揮。人柄は温厚。人との付き合いを大切にしたいとのこと。趣味はゴルフでハンディ11の腕前。今一番の楽しみは4月に生まれた初孫の翔輝くんとのひとときを過ごすこと。

星たちに

こうご期待



鈴木光芳さん

十一年度入会（北二）

昭和三十四年生まれ。

以前から入会しようと思
っていたのですが、独身の身
での入会をためらっていた
とのこと。また、同じ地区に
住んでいて、名前と顔が一致
しなかったり、名前すら知ら
ない先輩が居りましたので、
入会していろいろな行事に
参加したいと話してくれま
した。

趣味は釣りで、白水川ダムに
鯉釣りによく行っていたとの
こと。いつも数匹の釣果があつ
たが、白水川ダムが被災したた
め、最近行っていないとのこ
と。

仕事は、奥山税理士事務所に
勤務しており、相談したいこと
があつたら、気楽に話をして
くれれば、相談に乗りますとの
こと。これからの活躍を期待し
ます。

森谷茂泰さん

十一年度入会（北二）

昭和四十二年生まれ。

若い頃はよくウインドサ
ーフィンやスノーボードが
趣味だった彼が、五年前位か
ら行かなくなり、最近はずい
と遊ぶ時間が多くなったそ
うです。

今年度からマージャンク
ラブに所属し、二勝一敗とい
うなかなかの成績で好スタ



鎌倉正弘さん

十一年度入会（北二）

昭和四十一年生まれの三

十四歳。家族は、両親と奥さ
ん、二人のお子さんの六名家
族です。

趣味は、模型製作で、特に
飛行機の模型を作ることが
大好きで、現在の仕事（山形
空港消防警備隊）も大変楽し
んで勤めているとのこと。



佐藤春彦さん

十二年度入会（北二）

昭和三十一年生まれ。

北海道に五年間転勤にな
り、久しぶりに地元に戻り地
区のために、なにか出来るこ
とがあればと壮年会に入る
動機を語ってくれました。

趣味はトレッキングで、北
海道の雄大な自然に魅せら
れ、羊蹄山・夕張岳等走破し
てきた。

また、どちらかという
と、体を動かすことより、読書が
大好きで、特に時代ものの小
説、現在は藤沢周平にはまっ



鈴木寛幸さん

十二年度入会（北二）

昭和三十八年生まれ。

昨年までは消防団の分団
長をしており、忙しい日を過
ごしていたが、その職を後輩
に譲り、壮年会に入会した。
趣味は球技で、ソフトボー
ル・バレーボール等なんでも
得意とのことでした。

また、変わった飛行機が見
られるとの情報が入れれば、ど
こにでも見に行きたいと目
を輝かしていました。しか
し、お子さんが小さいので模
型作りは只今休業中とのこ
とでした。

また、パソコンも使いイン
ターネットやEメール、写真
を取り込んだ年賀状作りも
楽しんでいとのこと。
壮年会においても、これか
らの活躍を期待します。

佐藤春彦さん

十二年度入会（北二）

昭和三十一年生まれ。

北海道に五年間転勤にな
り、久しぶりに地元に戻り地
区のために、なにか出来るこ
とがあればと壮年会に入る
動機を語ってくれました。

趣味はトレッキングで、北
海道の雄大な自然に魅せら
れ、羊蹄山・夕張岳等走破し
てきた。

また、どちらかという
と、体を動かすことより、読書が
大好きで、特に時代ものの小
説、現在は藤沢周平にはまっ

新 若き

9名の

クラブ活動にはまだ入部していないが、ソフトボールクラブに入部を希望していました。

壮年会活動については、年齢層の広い団体で、まとまりがあるように見え、また、機関紙を見て思うのが、各種行事が多いことと、各クラブの活躍がすばらしいと話してくれました。

消防団での経験を生かして、リーダーシップを発揮してもらい、北壮年会の発展と更にまとまりのある、壮年会を目指してほしいものです。

岩月成人さん

十二年度入会(北二)

昭和四十年生まれ。大学・会社と首都圏で暮らし、家業の縫製業を継ぐために、十五年振りで地元に戻ってきた。帰郷時の印象としては、こんなにも故郷が変わってびっくりしたということでした。

スポーツが大好きで、高校時代は野球部で活躍し、夏の大会予選では、ベスト4まで進出している。大学は体育大に進学、多くの競技に親しんできたが、特にテニスに力を入れてきた。

壮年会の入会の動機は、「地元に戻ってきたばかりなので、北地区の人たちと もっと交流を深めていきたい」と語ってくれた。

クラブ活動はソフトボールに入部したということで、今後の活躍に期待したい。



岩淵 修さん

十二年度入会(北二)

昭和四十二年生まれの三十三才。両親と奥さん弟さんの五人家族です。

趣味は仕事と言いつつ、真面目人間と思つたら、今年中に車を買いたいために一生懸命仕事をしている。そこで、奥さんとどんな車を買うか協議中とのことでした。

壮年会に入会したきっかけは、地元の友達と話をして、先輩・後輩との出会いを大切にしたいからとのことでした。

クラブ活動は、じっくり考えてから入部したいし、また、友達と新しいクラブを作れないか相談していききたいとのこと。

若い人達からの新しい風で、会の活動が益々活発化しそうな予感がしました。

渡辺 毅さん

十二年度入会(北二)

昭和三十七年生まれの子三十七歳。お母さんと奥さん、そしてお子さん二人の五人家族です。

趣味は読書で、特に歴史物を好んで読んでいるとのことでした。

毅さんの学年は、地元に残っている人が少なく、地元の人達と話をしたりすることは少なかつたそうです。

壮年会に入会したきっかけも、その辺にあつたようです。これから、いろいろな活動を通し、交流の輪を広げていきたいとのことでした。

静かな語り口から出る一つひとつの言葉に、これからの活躍を感じられずにはいられませんでした。

壮年会での活躍と地元の発展のため、がんばってほしいものです。



阿部正和さん

十二年度入会(北三)

昭和四十三年生まれ。四歳の男の子と二歳の女の子がおります。

趣味は、海釣りです。カレイ等投げ釣りを得意としています。多い時で五匹、六十匹も釣ったことがあるそうです。しかし、仕事が夜勤専任なので、最近海釣りには行っていないとのこと。

壮年会への入会については、以前より機関紙の発行や北公民館での展示物を興味深く拝見していたとのこと。また、和気あいあいと活動しているのを感じ、入会を決意したとのことでした。

クラブ活動はまだ決まっていなそうですが、活躍の場を見つけ入部してほしいものです。



書道部長 (百十)

東海林 隆

平成十年度より、書道部を引き継いで三年目になりました。これまで、諸先輩方が築いた基礎をしっかりと受け継ぎ、活動して行きたいと考えております。また、お互いの親睦と融和を図り、楽しい書道部にして行きたいと思っております。

現在部員数は十一名。練習日もこれまで同様

毎月第二・第四火曜日に行っています。

今年度二名の仲間を加え、ますます活気のある部を目指していきます。

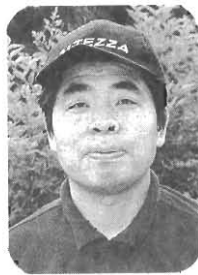
写真部長 (百十一)

大木富雄

写真部長になって二年目になりました。

定期行事としては、春と秋の移動撮影会や、県写真展見学(もつと積極的に言えば出張したい)などをメインにして、活動をしております。今年度はモデル撮影会などにも参加していききたいと思っております。

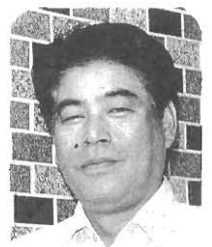
今年度は久しぶりに新入部員として、土屋光春さんが入部してくれました。時の瞬間を撮らえ、光の輝き、美しさを表現する、そんな楽しみを共有していききたいと思えます。蔵増地区の文化祭、北区の総会時に作品を展示しますので、ご期待願います。



ソフト部長 (百十二)

山崎 稔

私は、ソフトボールを趣味として、各種大会に参加してきました。以前に蔵増北壮年



会チームとは、村山地区大会において、度々白熱した試合

部長紹介

よろしくお願ひします

思っています。

若者よ、いい汗をかき、美味しいビールを飲もう。

麻雀部長 (百十二)

斎藤 勉

今年度、部長と言う大役を仰せつかった斎藤です。何かと部員の皆様には、迷惑をお掛けするかと思いますが、一生懸命努力するつもりですので、よろしくの程お願い致します。

さて、麻雀と言うと世間では、良く見てくれないのが通例だと思ひます。しかし、私はお互いのコミュニケーションの図れる最高のゲームと思っております。月一回の例会の来る日が待ち遠しくなるような会に持つていくのが宿命だと思ひているところです。

今後健全な麻雀をモツ



トーにし、これまで先輩が築いてくれた麻雀クラブを大切にして行きたいと思っております。



将棋部長 (百十二)

森山美典

将棋クラブは、壮年会設立と同時に出来た歴史のあるクラブです。天童市連合壮年会の大会でも、過去に二回の優勝を経験しております。

今年度、部員が四名増え、総勢十六名で活動を行っております。今年度は連合大会で三回目の優勝を目指して、練習に取り組む所存です。また、三チームの参加を考えており、選抜するのに苦労するのかなと、嬉しい悲鳴が出そうです。毎月第二土曜日、公民館で、毎回ビール有り。

今回は平成10年度からの部長さんです。

みんな元気で

ボウリング大会

佐藤政幸さん優勝

昨年十二月十日、空港ボウルで第八回北壮年会ボウリング大会が開催された。

この大会は、家族を含めて和気あいあいと交流できる催しとして人気行事となっている。今回は、安定感のあるフォームで着実に加点了佐藤政幸さんが、連続ストライクで意気上がる佐藤武志さんを振り切り、優勝した。賞品は夢はでっかい年末ジャンボ宝くじ。まさ夢になったかどうか。:



お母ちゃんエライ! 見直した

市書展へ初出展

書道部

昨年十一月二十六日から二十八日まで、新装オープン直後のパルテ市民ギャラリーで開催された市書展に本会書道部が初めて作品を出展した。

この市書展は年二回(春は色紙・秋は條幅)行われているもので、岩月先生の呼びかけで條幅を書き上げ出展した。地区外への出展は初めての取り組みである。思うような作品に仕上げることも大変だったが、部員の向上心を高める意味でも良いチャンスとなった。

展示内容を見るとさすがに市内の書家が一堂に会する場だけあって、どれも皆力作ぞろい。筆使いやかすれ具合など勉強になる部分がかかりあった。これからもできるだけ参加したいと考えている。

麻雀部年間タイトル

山崎稔さんが獲得

昨年五月、初日三勝でロケットスタートを切った山崎稔さんが十三勝で平成二年度以来二度目の年間タイトルを手にした。二位鈴木清雄さんとは二勝差だった。

平成十二年新春麻雀大会

本年一月二十三日「ゆびあ」で開催。渡辺勲さんと佐藤政幸さんが六勝二敗で並び得点差で渡辺さんが優勝。来年の大会は、参集範囲を区全体に広げ、大いに賑わしたい考えだ。



パイを開いて ハイこのとおり



盤上の行方は? もちろん美典さん

北区新春将棋大会

去る二月十一日、北公民館で総勢十七名で開催。小学生も三名参加した。

熊沢常也さんが初優勝し、二位に山崎諭さん、また、四位には小学五年生の熊沢将也君が入る健闘を見せた。

市連合青壮年会将棋大会

去る二月二十八日、パルテにて開催され、当部から二チームが参加。

結果はAチームが敢闘リーグ三位、Bチームは優勝トーナメント一回戦で敗退。

ストロボ・ライティング

を実習 写真部

六月十日、ストロボを多灯しライティング実習を行った。写真は光の当て方、方向によってかもし出す雰囲気ガラッと変わってしまう。部員の多くはレンズとと呼ばれる側方45度からの光が好ましい。

この機会に色々な光の当て方を試して身に付けたいとチャレンジしていた。新部員の土屋光春さんは、デジカメラを持ち込み、ほかの部員たちは瞬時に写し出される画面を見ながら技術の進歩に関心を寄せていた。



写真館の気分で ハイパチリ

ハリキッテます

さわやかに グラウンドゴルフ大会



生い茂った見事なグリーンの上で、さあ、狙いを定めて、

去る、五月二十八日に小学校グラウンドにおいて、蔵増地区青壮年会スポーツ大会が開催されました。

昨年まではソフトボール大会を行っていましたが、各団体がメンバーを揃えることが困難になったことにより、グラウンドゴルフ大会（1チーム六名）に種目を変えた第一回目の大会でした。

この大会には8チームが参加し、団体戦と個人戦の両方で成績を競いました。（個人戦は参加者全員がエントリー）北壮年会からは、2チーム参加しました。



振り切って おおナイスショット

結果は残念ながら、7位と8位でしたが、個人戦では東海林由人さんが5位タイと健闘し、同じく、山崎秀行会長が、見事ホールインワンを達成しました（窪野目チームでも二人が達成）。

当日は天候に恵まれほとんどの人が初めての体験でしたが、自分のスコアに一喜一憂しながらも、心地良い汗を流しておりました。この競技は、スティックとボール
途中に草むらがあつたり、相撲の土俵の上に旗があつたりと、非常に戦略的なコース設定になっていましたが、空振りをする人、1打で入れた人（ホールインワンと呼ぶ）と様々な表情が見られ、楽しい一日を過ごすことが出来ました。

きれいな町をつくろう

舞鶴山清掃

四月九日朝六時から、天童市連合青壮年会主催の舞鶴山清掃が行われました。各青壮年会から総勢五百名が参加し、各自ゴミ袋をもらって、

道路だけでなく草むらや林の中を登りながら、山頂を目指しました。一番ひどいのは、市の花になっているツツジの植え込みの中に、空き缶や空ビンが投げ捨ててあつたことです。植え込みが大きいので、拾うのに一苦労しました。すぐ隣にゴミ箱があつても、とんでもない所に捨てあり、市民憲章にある「美しいまちを作りましょう」が虚しく感じられました。ゴミの量も軽トララックで6台分になりました。

役員だけの参加だったのですが、菊地義盛さんが特別参加してくれました。みなさんご苦労さまでした。

北堀公園草刈り

五月二十八日早朝、恒例の北堀公園の草刈りが行われました。終わった後新入会員に対する、各クラブの紹介があり、各部の活性化につながれば良いと思います。

ゴミ拾いや草刈りは、ボランティアですが、地区をきれいにした壮快感を味わって、今後自分の仕事や私生活の糧になればと思っております。



みんなの公園にこんなもんイライナイ！

(舞鶴山清掃にて)



楽しんで見てもらえるよう、力を合わせてがんばります。

本会の機関紙「そうねん」は、昭和六十一年に第一号

機関紙「そうねん」編集委員会再編

— 継続的発行をめざして —

を発行して以来、平成十年までに通算三十二号を発行してきた。会の活性化、啓蒙、会員や北区内の情報交換などに果たしてきた役割は計り知れないほど大きいものがあつたが、継続的な発行や後継者育成について懸案事項となっていた。

新三役が問題提起

平成十二年度役員改選にあたり編集委員長が欠員状態のため四月七日の役員会でこの問題が話し合われた。

その結果、①機関紙は継続して発行していく。

②特定の部分に負担がかからないような機構を構築する。といったことが確認され、三役にこれまでの実務経験者三人を加え、機構改革案をまとめることとなった。

編集委員会

設置要綱」を策定

これらの経過を踏まえてまとめられた案は次の通りである。

わたしの作品

◀ 書道部員作品紹介 ▶

今回は佐藤陽岳（正男）さんを紹介します。陽岳さんは平成六年に書道部に入部し、現在六段です。入部の動機は、結婚式の記帳の際などで筆で自分の

名前を上手に書きたいと思ったからと話し、悩みは、公私共に忙しく、なかなか練習に参加出来ない。でも、焦らず自分のペースで長く続けて行きたい。正月に子どもと一緒に書初めをする事で子どもとの共有の時間を持ててうれしい。また、習字を書く時は何も考えず、真っ白な

半紙に黒い墨で書く時の緊張感がたまらないとこやかな顔で話す。これからの目標は、できるだけ時間を見つけて行書や草書の練習を積み、もっと力を付けたいと益々意欲を燃やしています。（聞き手 佐藤俊彦）

※今回のコーナーに初めて條幅を紹介しました。

百寮銀筆松椿祝三
殿瑤觴雨露恩 陽岳

佐藤陽岳（正男）さんの作品 「百寮の銀筆松椿の祝、三殿の瑤觴雨露の恩」

本会に次の委員をおく

- (1) 編集委員長 一名
 - (2) 常任委員 若干名
 - (3) 委員 各区選出 三名
 - (4) 委員 各部選出 六名
- 委員選出は次により行つ。
 (1) 編集委員長は副会長の
 中から選出する。
 (2) 常任委員は会長が特に

- 必要と認める者に委嘱する。
 (3) 各区理事は各区会員の
 中から一名委員を選出す
 る。
 (4) 各部長は部員の中から
 一名委員を選出する。

これらの任期は一年とする。
 これらは「要綱」として
 五月十九日の役員会に諮ら
 れ、満場一致で承認された。

☆第22回 詰め将棋

将棋クラブがあなたに挑戦

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					銀			銀
				飛	銀			
						王	王	
						王	王	
								歩

▲△□○●×○△▲
 飛を隠して△▲△△△
 □○△●×○△▲
 五△△△△△
 七△△△△△

近所のニュース

赤白やん誕生めでとウ

*岩月成人さん・千文さん

次男 貫くん (H11.12.16 生)

*佐藤伸一さん・実花さん

長女 あゆみちゃん (H12.2.10 生)

*渡邊 毅さん・智美さん

長女 彩華ちゃん (H12.3.18 生)

*大木富雄さん・くに子さん

長男 友弘くん (H12.6.26 生)

*山崎秀行さん・かよ子さん

孫 翔輝くん (H12.4.22 生)

*五十嵐俊一さん・敬子さん

孫 遙ちゃん (H10.10.18 生)

☆会員の家庭に生まれた赤ちゃんや、結婚などのおめでたい話、地域内でこんな良い話があった… など、シアワセなニュースがありましたら最寄の編集委員までお知らせください。

表紙題字 書道部長 東海林隆 (鳳竹) 書

- ▲ 3 三金 まで七手詰め
- ▲ 3 二飛成 △同 玉
- ▲ 2 二銀 △ 2 三五
- ▲ 3 三銀成 △同 玉
- ☆第22回 詰め将棋回答
- *****

- 山崎 増男 様 (北一区)
- 渡邊 渡曹雄 様 (北二区)
- 蔵増 幸義 様 (北三区)
- 山崎 敏也 様 (北三区)
- 土屋 洋二 様 (北三区)

土屋 洋二 様 (北三区)



編集委員

委員長：奥山正男 ・常任委員：秋保栄、森山美典、東海林隆 ・区選出委員：1区 後藤賢次、2区 今田仁志、3区 土屋博明
・部選出委員：ソフト部 山崎稔、将棋部 (兼)森山、麻雀部 斎藤勉、謡曲部 土屋弘度、書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄

北 三

佐藤博雄さん



人は、北区で唯一の果樹専門農家で、主に葡萄と桜桃を栽培しています。葡萄は十八年ほど前から巨峰の

今回は、北三区、東町の佐藤博雄さんを紹介いたします。佐藤さん

とした手抜きで大きく収穫に影響する。また、ハウス内の温度や湿度の管理が難しく、妻と二人で早朝から深夜まで何度も自宅とハウスを往復し、我が子を育てるように手をかけている」と、にこやかに語ってくれました。

ある時、博雄さんが桜桃の収穫時期を見誤ったことがありました。ある時、博雄さんが桜桃の収穫時期を見誤ったこと... 一種でピオーネという品種を、桜桃は六年ほど前から加温栽培で高品質・低コストを目指し生産に取り組んでいます。一、加温栽培は、毎日の天候や、ちよつとした手抜きで大きく収穫に影響する。また、ハウス内の温度や湿度の管理が難しく、妻と二人で早朝から深夜まで何度も自宅とハウスを往復し、我が子を育てるように手をかけている」と、にこやかに語ってくれました。

- これからの行事予定
- ◎八月上旬 北堀公園草刈
- ◎八月六日 (日) 北区盆踊り大会
- ◎八月二十七日 (日) 地区レクリエーション大会
- ◎十一月四日 (土) ~五日 (日) 蔵増地区文化祭
- ごくろうさまでした

平成十一年度をもって次の方々が退会されました。皆様からは、壮年会活動の基礎づくり、そして活性化に御尽力いただきました。献身的な奉仕と地域を愛する取り組みに深く感謝を申し上げます。

あとがき

▽今年度から編集委員になりました。文章を綴るのは大変です。今、娘を小遣いで釣って口述筆記をやってみようと思っています。なかなか考えが伝わりません。酒が進みます。

(二区委員 後藤賢次) 今月初めに編集の手伝いをさせていただきましたが、文章がうまくまとまらず、マスを埋めるだけになってしまいました。取材をお願いした皆さんごめんなさい。(二区委員 今田仁志) 設立二十周年記念の年に編集に参加できた事に感謝

会員はもとより、北区の皆様にも会の事業内容・活動等をより一層知っていただけよう、次号を目標に取り組んでいきたい。(三区委員 土屋博明)